

科目番号 1

授業科目名： 英語教育実践	講義日： 6月23日（土） 6月30日（土）	単位数： 1単位	担当教員名： 遠藤恵利子・村野井仁 担当形態： オムニバス
科 目	教職に関する科目（中学校 英語）		
施行規則に定める科目区分	各教科の指導法		
授業の到達目標及びテーマ 「中学校における英語指導法について実践的に学ぶ」			
到達目標 (1) 英語教育実践の基礎的事柄を理解し、その概要を伝えることができる。 (2) 講義で学ぶ英語教育実践の実例を基に、効果的な英語教育実践の提案を行うことができる。			
授業の概要 中学校における英語指導法について実践的に学び、英語を指導する教員としての専門性を高める。現行及び次期学習指導要領の方針の理解（外国語科における「見方・考え方」、「主体的・対話的で深い学び」等）、英語指導法（クラスルームイングリッシュ、ICTを活用した授業等）、目標設定・指導計画及び学習状況の評価等について実践的に学ぶ。授業観察（授業映像視聴等）、授業体験（担当教員による授業実演等）、模擬授業（受講者による授業実演）を多く行い、実践的に英語指導力を高める。			
授業計画 第1回：現行及び次期学習指導要領の概要（外国語科の「見方・考え方」及び「主体的・対話的で深い学び」） 第2回：英語授業実践1（コミュニケーションとめざす生徒像） 第3回：英語授業実践2（授業づくりの5つの視点） 第4回：英語授業実践3（年間指導計画と単元構成、1時間の授業構成、様々な活動、指導案作成の仕方、短時間授業等の設定） 第5回：英語授業実演（教材の工夫と効果的な活用） 第6回：模擬授業（教材の工夫と効果的な活用） 第7回：模擬授業（教材の工夫と効果的な活用）の講評 第8回：英語授業実践（評価の工夫、小中連携の工夫）・まとめ 試験			
テキスト：配付資料を用いる。			
参考書・参考資料等 文部科学省『中学校学習指導要領解説外国語編』 国立教育政策研究所『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料中学校外国語』 村野井仁（編）『コア・カリキュラム準拠 小学校英語教育の基礎知識』（大修館書店）			
学生に対する評価			
到達目標（1）	授業における課題及び記述式試験		50%
到達目標（2）	授業における課題及び記述式試験		50%